



アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No. 8 / 2006 年 8 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第 8 号をお届けします。

8 月の AP 研は、来年 8 月 20 日（月）－ 24 日（金）に開催予定の 2007 年アンテナ伝播国際シンポジウム（2007 International Symposium on Antennas and Propagation, ISAP2007）の下見をかねて、新潟コンベンションセンター（朱鷺メッセ）で開催されます。今回は、この ISAP2007 の概要と、AP 研各種委員会の 1 つである「アンテナ歴史委員会」の活動状況についてお知らせします。

【1】 ISAP2007

アンテナ伝播国際シンポジウム（ISAP）は、アンテナ、電波伝搬、電磁界理論とそれらの関連システム・技術を中心に、各種の新しい電波利用技術への応用を含む分野を対象として、学術研究論文の発表・討論を行い、最新の情報と意見の国際交流により、これらの分野の技術の発展と新しい研究の発掘を推進することを目的としたものです。ISAP は、電子情報通信学会主催で、1971 年以来、当初 7 年毎、1989 年以降は概ね 4 年毎に開催されており、2004 年 8 月には、第 9 回 ISAP として ISAP' 04 が仙台において開催されました。その後、ISAP の海外展開を図り、ISAP2005 を 2005 年 11 月に韓国ソウルで開催し、今年 11 月 1 日（水）－ 4 日（土）にはシンガポールで ISAP2006 を開催する予定で、ISAP をアジア太平洋地域での中心的会議として定着させることをねらっています。ISAP2007 は、第 12 回 ISAP として 3 年ぶりに日本で開催される ISAP であり、着々と準備が進められています。ISAP2007 の詳細、および会場については、下記のホームページをご覧ください。

ISAP2007 : <http://www.isap07.org/>

朱鷺メッセ : <http://www.tokimesse.com/>

【2】 AP 研アンテナ歴史委員会

AP 研アンテナ歴史委員会は、日本におけるアンテナに関する貴重な資料をデータベース化し、その資料を有効活用することを目的に、1999 年 12 月の AP 研専門委員会において設置が認められたもので、2000 年 6 月 2 日の第 1 回委員会以降、20 回以上にわたる委員会を開催し、ISAP2004 などの国際会議においてアンテナの歴史展示コーナーを設けるなど、精力的な活動を進めています。

■ 塩川委員長からのメッセージ :

皆様が研究開発されたアンテナ、アンテナシステムに関する貴重な資料をご登録いただき、データベース化し、後世にしっかり残すことは勿論のこと、各種の国際会議等で日本の技術として紹介するなど有効に活用しております。つきましては、著作権等、公開にあたって問題がクリアされたアンテナの資料のご登録を期待しております。

■アンテナ資料の登録について：

どなたでも、アンテナ資料の登録が可能です。資料をお持ちの方はどんどん登録して下さい。登録は、AP研のホームページ (<http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>) から、「歴史委員会ホームページ」にアクセスして下さい。詳細は、ホームページをご覧ください。

■今年度の委員は以下のとおりです。

委員長： 塩川 孝泰（東北学院大）
幹事： 宇野 亨（東京農工大）、牧野 滋（三菱電機）
幹事補佐： 有馬 卓司（東京農工大）
委員： 岩井 浩（松下電器産業）、菊間 信良（名工大）、倉本 晶夫（日本電気）
庄木 裕樹（東芝）、正源 和義（NHK）、鈴木 康夫（東京農工大）
高橋 應明（千葉大）、長 敬三（NTT ドコモ）、野本 真一（KDDI 研）
堀 俊和（福井大）、真鍋 武嗣（大阪府大）、森下 久（防衛大）

AP 研アンテナ歴史委員会について、ご意見がありましたら、ap_ac-history@mail.ieice.org まで。

【3】AP 研副委員長の戯言

新潟といえば、「酒」、「美人」、「北朝鮮」というキーワードが思い浮かびます。これは福井と類似(?) しています。…ということで、今回は「美人」について、以前から AP 研で言い伝えられている「美人の産地」の AP 研風解釈についてご紹介します。決して、「セクハラ」、「女性差別」というつもりはありませんので、ご了解のほどを。

美人としては、日本海側の秋田をはじめとして 1 県おきに、秋田美人、越後美人、加賀美人、京美人、伯耆美人、そして博多美人が有名です。これを数式化しますと、

$$\text{rot (対馬海流)} = \text{美人}$$

となります。これは、対馬海流が渦を巻くところに美人が生まれるとのことで、海流が渦を巻くのは、半島や島があるところ、すなわち、男鹿半島、佐渡、能登半島、丹後半島、島根半島がある場所になります。では、渦を巻く場所で何故美人が生まれるのか？それは、南方からの漂流者がそこに漂着し混血の子供ができたからだそうです。ということは、単に「混血」であれば「美人」だということにも聞こえますがね…。では、rot（親潮）、rot（黒潮）などはどうなのですか、という声も聞こえてきそうですが…まあよしとしましょう。でも、北朝鮮からの漂流物は、新潟とか福井にも多いのですが…。



<問合せ先>

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 堀俊和（福井大学）

E-mail : ap_ac-chair@mail.ieice.org